

### 約3,300株を自治会などに配布 花いっぱい運動

10月14日、市内全域を対象とした花いっぱい運動が行われました。この運動は、市内の風力などの再生可能エネルギー発電施設の運営事業者が拠出した協力金を活用したもので、緑が少なくなる時期に市内を花いっぱいにして約3,300株のビオラやパンジーを用意。自治会の皆さんが象潟庁舎を訪れ、地域に設置するプランターを持ち帰りました。



▲秋晴れのなか、集まってくれたボランティアの皆さん

### 佐竹知事へ思い伝える いちじく生産者らが県知事訪問

10月12日、金浦大竹の生産者らが、昨今のかほ市産いちじくの現状をお伝えするべく、佐竹知事を訪問しました。訪問では、市内産いちじくの特徴や強みなどが述べられたほか、多くの集客を誇った「いちじくいち」の様子なども語られました。知事は「若い人に馴染みが無いのが、逆に魅力になっている」等と生産者らを激励していました。



▲佐竹県知事と佐々木県議、本田副市長といちじく生産者の皆さん

### 高速道はつながってこそ力を発揮 日沿道山形・秋田県境区間建設促進大会

9月29日、ホテルエクセルキクスイで「日沿道山形・秋田県境区間建設促進大会」が開催され、一般参加や本荘由利、庄内地域の関係者等、約220人が参加しました。大会では総務大臣や鳥取県知事を歴任された片山善博氏の基調講演のほか、観光・物流経済の発展や防災面における重要性と早期完成の要望等を記した大会決議を採択しました。



▲「単体ではなく地域の連携が大事」と語る片山氏

### 今までの常識を変える！新しい健康法 にかほ市文化講演会

9月30日、仁賀保勤労青少年ホームで、にかほ市文化講演会が開催されました。講師を務めたのは、乳がん治療の権威で独自の若返り健康法を推奨し、テレビ番組にも多数出演している南雲吉則先生（ナグモクリニック総院長）。がん死亡率が未だ高い秋田県に対して、食を基本とする生活習慣の改善を訴えました。



▲1955年生まれ南雲先生。とても63歳には見えませんでした。

### 超神ネイガーも20周年を祝福

フェライト子ども科学館開館20周年記念  
～超神ネイガーと一緒にまわる館内ツアー～

10月21日、科学館で開館20周年を記念し、超神ネイガーと一緒にまわる館内ツアーが開催され、市内外から親子24組67人が参加しました。

同館はTDK創設者・斎藤憲三氏の生誕100周年を記念し平成10年に建設、現在まで983,803人が入館しています。今後も斎藤憲三氏の科学する心やチャレンジ精神を未来へ受け継いでいきます。



▲ネイガーにエスコートされ館内を回りました。

### 知見を広げ、将来へ生かそう

中学生と管内企業のふれあいPR事業

10月16日・19日の両日、にかほ地域の幅広い業種の地元企業と中学生が直接ふれあい、地元で働くことについて考えてもらう機会として、「中学生と管内企業のふれあいPR事業（にかほ地域）」が市内中学校で開催されました。生徒たちは真剣な表情で企業の話に耳を傾け、積極的に質問するなど将来について考えを深めている姿が見られました。



▲普段聞くことのない企業の話に興味津々！（象潟中学校）

### 閉校した学び舎にあふれる笑顔

いちじくいち

10月6日・7日の両日、旧上郷小学校で3回目となる「いちじくいち」が開催されました。秋晴れの鳥海山を望みながら今年3月に閉校した懐かしの学び舎で午前10時いよいよ開場。朝取りの生いちじくを求め校内を巡る長蛇の列、そして県内外から集まった52店舗が並ぶ体育館や教室には、かつての児童たちのように笑顔があふれていました。



▲いちじく一色に染まった体育館は常にお客さんで満員

### 100歳長寿おめでとうございます

長寿祝状・祝金贈呈式

10月4日、今野マキエさん（堺・大正7年生まれ）が100歳の誕生日を迎え、養護老人ホームで、市川市長から祝状と祝金30万円が贈呈されました。食事の際、「ハタハタが食べたい」「ダマが食べたい」「いちじくが食べたい」とお願いするくらい、にかほ市の特産が大好きで食欲旺盛なマキエさん。これからも末永くお元気で過ごしてください。



▲たくさんの施設入所者、職員の方々から盛大にお祝いされました。